
豊ヶ丘複合施設整備方針の決定に向けた 地域意見交換会

令和6年10月6日

行政管理課・協創推進室・児童青少年課・高齢支援課・図書館

次第・配布資料

< 次第 >

- 司会進行・コーディネータ 東京都立大学 饗庭伸教授
- 10:00～ 開会挨拶 (行政サービス・アセット担当部長 松田)
- 10:05～ 豊ヶ丘複合施設整備方針(素案)の説明 (資産活用担当課長 萩野)
- 10:25～ 意見交換
- 11:55～ 閉会挨拶 (行政サービス・アセット担当部長 松田)
- 12:00 閉会予定

< 受付での配布資料 >

- 豊ヶ丘複合施設整備方針の決定に向けた地域意見交換会
- 豊ヶ丘複合施設整備方針(素案) 令和6年5月
- 豊ヶ丘複合施設整備方針(素案)に関するアンケート調査用紙

< 会場後方に配布物として用意している資料、ご自由にお持ち帰りください >

- コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)
- 児童館のあり方基本方針(素案)

1 豊ヶ丘複合施設に関するこれまでの取り組み

- 平成25年11月 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を策定。**施設廃止方針を公表**
- 平成26年6月 **施設の存続を求める陳情採択**
- 平成28年11月 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新。**施設廃止方針を見直し、市民と対話していく**
- 平成29年8月-平成31年2月 **市民ミーティング(全7回)を開催。施設を存続し、何らかの機能を残す方針を説明**
- 令和元年5月-10月 **市民ワークショップ(全6回)を開催。基本方針案・改修方針案、ゾーニング案、今後の課題を中間報告**
- 令和2年1月-2月 **オープンハウス(6日間)を開催。市民ワークショップの成果を地域へ周知**
- 令和2年11月-令和4年6月 **市民経過報告会(3回)を開催。コロナ禍で具体的な検討が進められない中でも断続的に対話を継続**
- 令和4年7月-令和5年2月 **整備方針共同検討会(全5回)を開催。将来の施設像や機能の検討とともに、改修案と平屋建替案を併記**
- 令和5年3月-4月 **オープンハウス(4日間)を開催。改修案と平屋建替案に関するアンケートでは平屋建替案が多数となった**
- 令和6年5月 **市はアンケートの結果や機能(サービス)の検討状況を踏まえ、豊ヶ丘複合施設整備方針(素案)を決定**

1 豊ヶ丘複合施設に関するこれまでの取り組み

(1) 平成25年11月「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を策定。施設廃止方針を公表

市では平成25年11月に、本市の公共施設のあり方と個別施設の今後の方向性を示す「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム(以下「行動プログラム」)」を策定し、「安全に使い続ける」「施設全体のダイエツト」「時代のニーズに合わせた施設への機能転換」の3つの視点から、次世代に負担を先送りしない持続可能なまちづくりを目指しています。その中で、豊ヶ丘複合施設については、大規模改修時期である平成34年度にあわせて、地区市民ホール・老人福祉館は貝取こぶし館と統合、図書館・児童館は廃止、学童クラブは近隣小学校へ移転の方向性を提案しました。

(2) 平成26年6月「施設の存続を求める陳情」採択

平成25年11月の「行動プログラム」公表後、各地域で公共施設のあり方に関する議論が多数寄せられました。豊ヶ丘地域からは市議会に対し「豊ヶ丘複合施設を存続させること」の陳情が提出され、平成26年6月に採択されました。

(3) 平成28年11月「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新。施設廃止方針を見直し

地域の声や社会情勢の変化なども踏まえ、策定から3年が経過した平成28年11月に「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。その中で、豊ヶ丘複合施設については、大規模改修時期である平成34年度まで、現機能を維持しつつ存続すること、それまでの間、市民や利用者等と対話を行いながら、今後の施設のあり方について検討していくこととしました。

1 豊ヶ丘複合施設に関するこれまでの取り組み

(4) 平成29年8月～平成31年2月「市民ミーティング(全7回)」を開催

平成29年8月から開催した市民ミーティングでは、豊ヶ丘・貝取地区を含む多摩ニュータウン南側の現状や、豊ヶ丘複合施設の利用者の意見、今後の合意形成に向けた進め方など、多岐に渡る分野で意見交換を行いました。その中で、市としても規模や機能の見直しは必要だが、大規模改修時期である平成34年度以降も施設を存続し、何らかの機能を残す方針を説明しました。

(5) 令和元年5月～10月「市民ワークショップ(全6回)」を開催

令和元年5月から開催した市民ワークショップでは、公募した参加者の話し合いの中で、これからの地域や新しい豊ヶ丘複合館に関するアイデアを、言葉やイラスト、模型、ゾーニング図にしていき、最終的に「基本方針案・改修方針案」、「ゾーニング案」、「今後の課題」で構成される「豊ヶ丘複合館の方針案」をまとめ、中間報告として市に提出しました。

(6) 令和2年1月～2月「オープンハウス(6日間)」を開催

令和2年1月の終わりからと2月にかけて開催したオープンハウスでは、市民ワークショップに参加していない市民にも成果を分かりやすく伝えることを目的に、豊ヶ丘図書館前でパネルを設置し、通行する方々に対して個別に説明しました。

1 豊ヶ丘複合施設に関するこれまでの取り組み

(7) 令和2年11月～令和4年6月「市民経過報告会(3回)」を開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、当初予定していた報告会の開催を延期せざるを得ない状況の中でも、市民ワークショップの中間報告に対する市の考えや検討状況などを報告する機会を設け、断続的に市民との対話を継続しました。

(8) 令和4年7月～令和5年2月「整備方針共同検討会(全5回)」を開催

市民ワークショップの中間報告に対する市の考えも含め、市の行政計画として「整備方針」を決定することを目指し、整備方針共同検討会を開催しました。その中では改修案と平屋建替案を両論併記で提示しました。

(9) 令和5年3月～4月「オープンハウス(4日間)」を開催

整備方針共同検討会の成果をまとめ、共同検討会に参加していない市民にも成果を分かりやすく伝えることを目的に、豊ヶ丘図書館前でパネルを設置し、通行する方々に対して個別に説明しました。その中で、アンケート調査を実施したところ、改修案よりも平屋建替案を要望される市民が多数となりました。

(10) 令和6年5月「豊ヶ丘複合施設整備方針(素案)」を決定、9月「オープンハウス(4日間)」を開催

令和5年3月～4月に開催したオープンハウスで実施したアンケートの結果や機能(サービス)の検討状況を踏まえ、市は平屋建替案を旨とする「豊ヶ丘複合施設整備方針(素案)」を令和6年5月に決定し、同9月にオープンハウスを開催して周知しました。

2 豊ヶ丘複合施設整備方針(素案)について

(1) 将来に向けた施設像

将来に向けた施設像： 地域ニーズに柔軟に答え、多世代が集い、学び、つながる、豊ヶ丘の地域拠点
キーワード： 交流・居場所・だれでも・多世代・開かれた・つながる

(2) 豊ヶ丘複合施設の施設整備に向けた市の基本的な考え方

- ①地域の魅力の向上につながる施設づくり
- ②多世代でシェア(共有)できる施設づくり
- ③様々な主体同士がつながり合える施設づくり
- ④社会状況の変化や時代のニーズなどに柔軟に対応できる施設づくり
- ⑤実現可能な施設づくり

(3) 本複合施設で求められるサービス

- ①子ども・若者向けサービス
- ②図書館サービス
- ③貸室・フリースペース
- ④新たなサービス
- ⑤その他

(4) 施設整備の方法

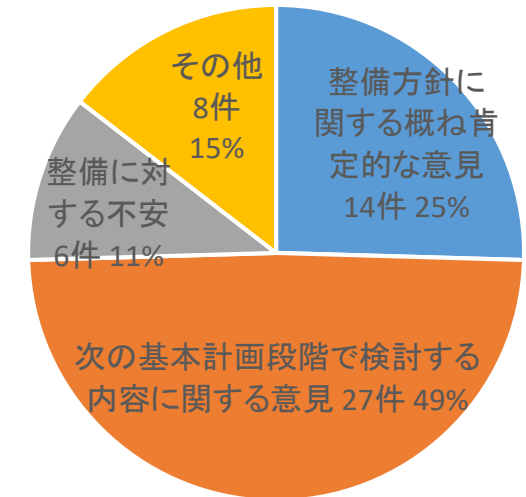
現施設には施設的な制約があり、「現施設の大規模改修」では間取りの工夫に限界があります。地域の魅力の向上につながる施設づくりなど市の基本的な考え方を実現するため、施設整備の方法は「現施設の解体と平屋建替え」とします。

3 これまでにいただいた市民意見について

(1) オープンハウス(9/3・4・6・7に豊ヶ丘図書館前等で実施)

豊ヶ丘図書館前(初日は雨天で第一会議室)でパネルを設置し、通行する方々に豊ヶ丘複合施設整備方針(素案)を説明した4日間で計141人が来場し、以下のとおり計55件の意見を聴取した(表内項目横の○数字は同様の意見件数)

分類	主な意見
整備方針に関する概ね肯定的な意見 ⑭	<ul style="list-style-type: none"> ・平屋に賛成②、平屋に賛成だが段差や階段を(視線をそらすため①、健康維持のため①) ・新築に賛成②、新築に賛成だができるだけ機能は残して② ・地域の未来を見据えて②、とよよんと連携を①、コストをかけずに早く進めて① ・市民意見を反映して①、市民意見を聞きすぎないで早く進めて①
次の基本計画段階で検討する内容に関する意見 ⑳	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ面積を広くして④、屋上を使いたい②、入口はバラバラでもよいかも① ・音漏れや遮音、各機能のすみ分けに関する意見 (子どもとお年寄り①、コミュニティと図書館①、子どもの声と図書館①) ・図書館(静寂にして②、にぎやかにして(若者も来館しやすく)①、照明を明るくして①) ・飲食しながら読書できるスペース(ほしい①・いらない①) ・お風呂(残して①、シャワーで充分①)、麻雀したい②、囲碁したい① ・学習スペースほしい①、高齢者スペースほしい①、コンシェルジュほしい① ・自分たちでDIYしたい(家具制作②、植栽管理①)
整備に対する不安 ⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中は別の施設を利用することへの不安(貸室②、図書館②) ・新築は混雑するので不安(貸室①・図書館①)
その他 ⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・唐木田菖蒲館は良い②、TOMハウスは静かにしなければならない① ・図書館めぐりがしたい①、不登校の子どもが日中いても理由を聞かない雰囲気づくりを① ・ミニバスをもっと活用して①、団地のイベントで周知して①、政治と行政は切り分けて①



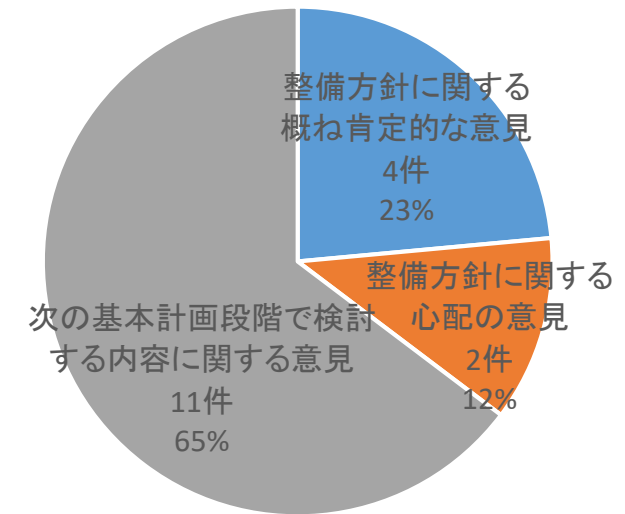
～オープンハウスのまとめ～
 整備方針の「解体・平屋建替え案」に肯定的かつ早く進めてという意見が目立ち、それを前提として次の基本計画段階で検討する内容に関する要望・意見がさらに多かったという状況です。また、整備に対する不安の意見については、工事に伴う一時的なものなので、ご理解いただきたいと考えています

3 これまでにいただいた市民意見について

(2) アンケート調査(9/3～10/9まで豊ヶ丘複合施設内やWebにて受付)

オープンハウスの実施にあわせて、豊ヶ丘複合施設整備方針(素案)に関するアンケート調査を実施している
9/26受付分までで、8人から以下のとおり計17件の意見を聴取した(表内項目横の○数字は同様の意見件数)

分類	主な意見
整備方針に関する概ね肯定的な意見 ④	<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針(素案)に賛成① ・平屋に賛成① ・新築に賛成① ・貝取と豊ヶ丘の連携を今までより強く(とよよんや他の施設との連携に期待)①
整備方針に関する心配の意見 ②	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の移転は心配(豊ヶ丘商店街から遠くなる①、今のままがよい①)
次の基本計画段階で検討する内容に関する意見 ⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ面積を広くして①、フリースペース(広くして①、使いやすくして①) ・音漏れや遮音、各機能のすみ分けに関する意見(貸室の音漏れ①、子どもとお年寄り①) ・図書館(地域館のあり方を検討して①、閉架書庫は作らないで①、開館時間を長くして①) ・入口は一つにして①、建物はガラス張りにして①、周辺からのアプローチを計画して①



～アンケート調査のまとめ～

オープンハウスでの意見と同様に、整備方針の「解体・平屋建替え案」に肯定的な意見が多く、それを前提として次の基本計画段階で検討する内容に関する要望・意見がさらに多かったという状況です。一方で、児童館の移転を心配する意見が2件ありました。現在の豊ヶ丘児童館の近くに住む方々にとっては多少遠くなってしまいますし、高齢者からは豊ヶ丘複合施設から子どもの声がなくなってしまうという心配もあるかもしれません

豊ヶ丘・貝取エリア全体を見渡して、子どもや保護者の立場で考えると、豊ヶ丘小から貝取学童クラブに通う児童の負担や保護者の心配を軽減するため、貝取学童クラブを豊ヶ丘小学校敷地内へ移転し、空いた貝取学童クラブ地は園庭が広く、豊ヶ丘小・貝取小の両校からバランスのよい場所であることから、豊ヶ丘児童館を貝取学童クラブ地へ移転するべきであると考えています。

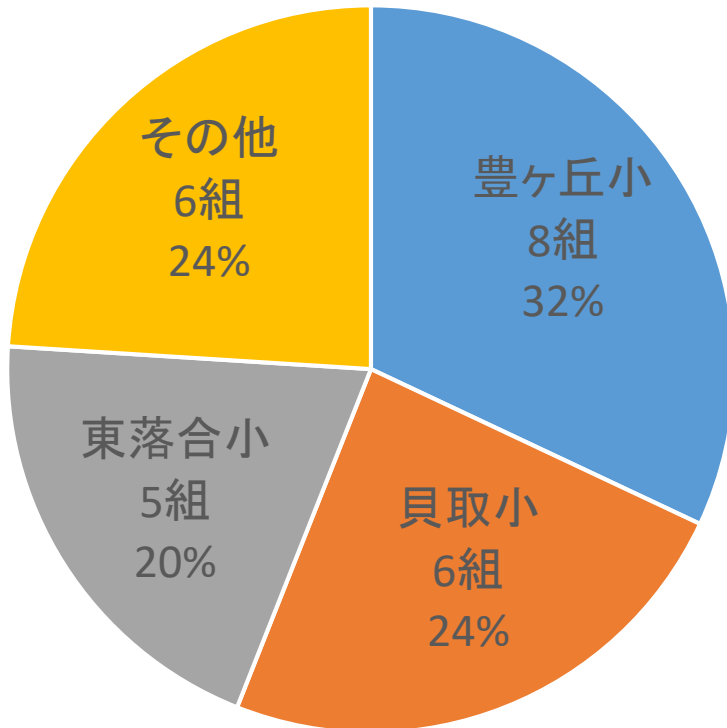
フリースペースや図書館、音への配慮、建物構造などについては、基本計画段階で要望や意見を集約していきます

3 これまでにいただいた市民意見について

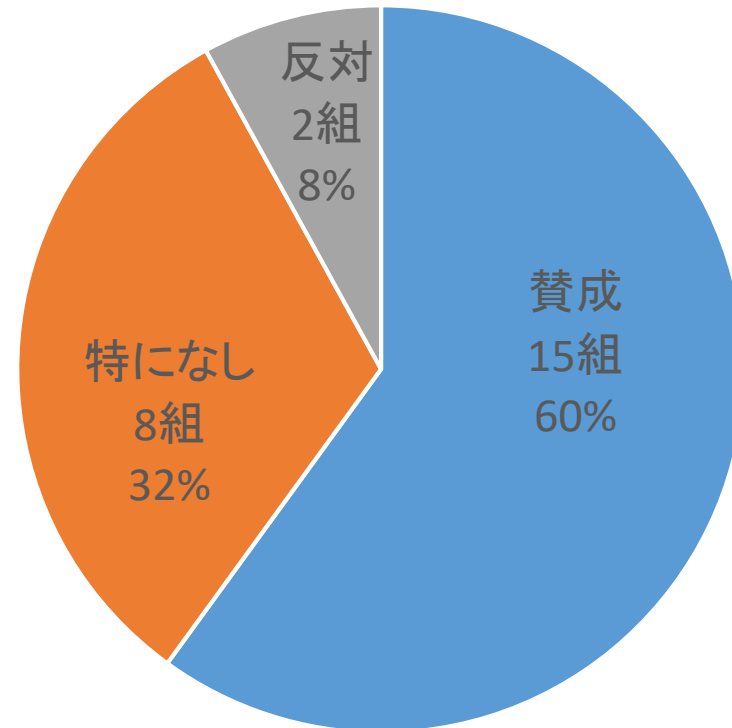
(3) 児童館の移転に関する聞き取り調査(9/21に豊ヶ丘第六公園で実施) その1

貝取小・豊ヶ丘小・東落合小3校の全児童に対して、児童館移転の概要を説明するチラシを配布し、豊ヶ丘児童館にて説明会を開催したが参加者は集まらなかった。そのため、同日に豊ヶ丘第六公園で豊ヶ丘児童館が開催した移動動物園(参加者204人)の場に出向いて、児童館移転について親子計25組へ聞き取り調査を行った(数字は回答数、全25組の中での割合)

意見者の学区別



児童館移転の意見



3 これまでにいただいた市民意見について

(3) 児童館の移転に関する聞き取り調査(9/21に豊ヶ丘第六公園で実施) その2

賛否	分類	主な意見
賛成	①移転に関する内容	児童館が近くなるのは嬉しい 移転は賛成、しかし落合エリアから来る人にとっては不便だと思う 今の場所は近くて便利だけど、多少遠くなっても行きます 児童館の場所よりも、子どもの友だち皆が行くなら子どもは行きます 場所の問題ではなく、リニューアルされるのは良いことだと思います
	②児童館への期待内容	息抜きをしたいと思って来ているので、少しでも子どもに対して目が離せられる場所だと嬉しい 園庭が広くなり、外遊びもできて嬉しい 行きたいと思える魅力的な事をやってくれたら、場所が問題ではないです 職員は遊んでくれるし、いろいろな体験をさせてくれる。引き続きそうであってほしい
	③その他	放課後子ども教室を週5日やってほしい 自分も子どもの頃に豊ヶ丘児童館を利用し、思い出がありますが、地域に人が減り子育てし易い地域になっていないので、今のままではダメだと思います
特になし	①移転に関する内容	今の児童館は(住んでいる所から)近いですけど、特に問題は無いです。 今住んでいる場所から遠くなるので行かなくなるだろう(豊ヶ丘児童館以外の児童館を利用できる方)
	②児童館への期待内容	これからも障害のあるなしで区別されない居場所であってほしい
反対	①移転に関する内容	遠くなるので反対。学童クラブの校内化は賛成
	②児童館への期待内容	高齢者の方には挨拶しても返さない方が多く、同じ場所で過ごしている中で、子どもが高齢者に勢い良くぶつかったら危険だと感じる。スペースは分けてほしい

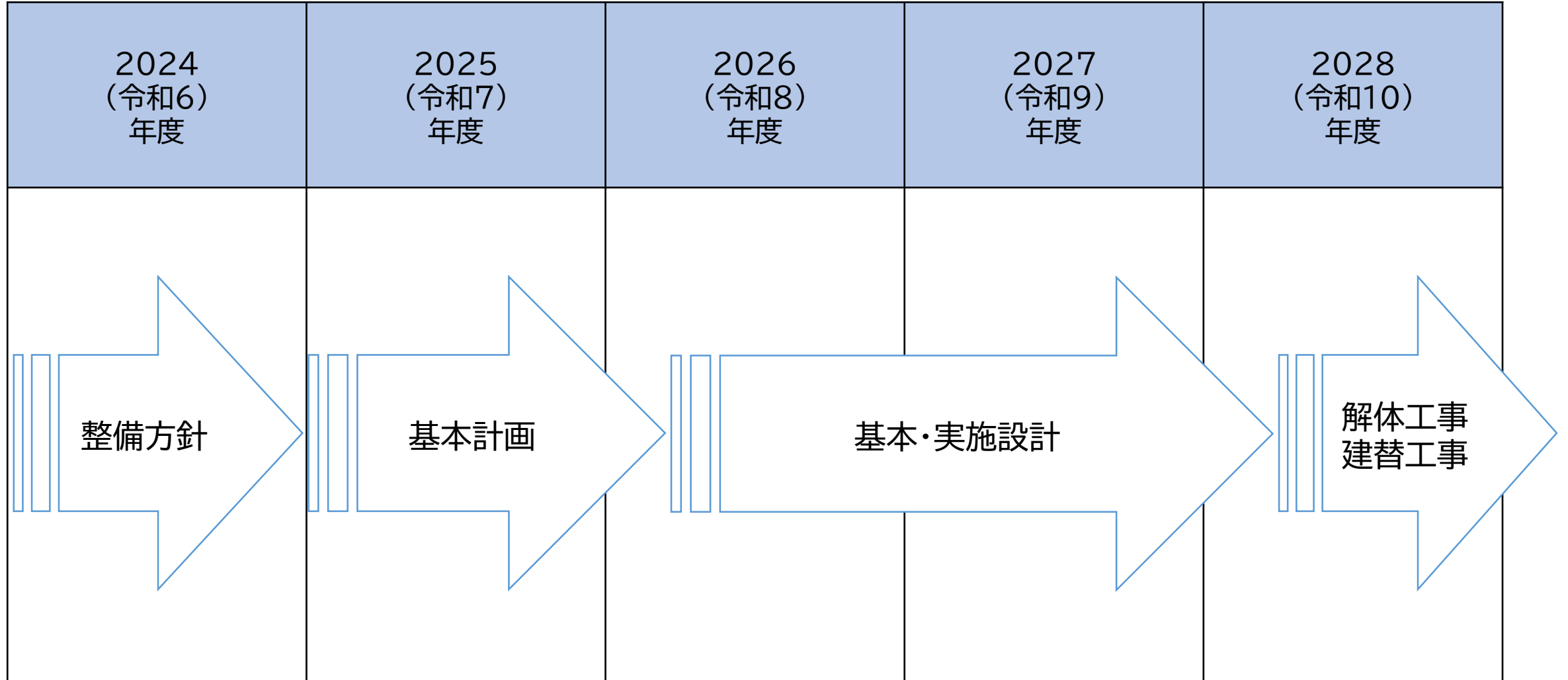
3 これまでにいただいた市民意見について

(4) 市議会 総務常任委員会からの主な意見・質問

時期	議員からの主な意見・質問	市の考え
令和6年3月	図書館で「次期読書活動振興計画」の検討がはじまったばかりだが、豊ヶ丘の検討をこのまま進めてよいのか	豊ヶ丘については整備方針で大枠を固めた上で次の基本計画段階でより具体的な検討に入っていく。基本計画段階では具体的な図書館の仕様を固める必要があるため、「次期読書活動振興計画」の検討と足並みをそろえて取り組んでいきたい
	福祉相談だけでなく、オールマイティな相談機能がほしい	参考にさせていただく
令和6年6月	豊ヶ丘児童館は広いが貝取学童クラブの場所に移転すると面積は小さくなるのか	延床面積としては現在の豊ヶ丘児童館が458㎡、貝取学童クラブが243㎡である。しかし、現在の豊ヶ丘児童館のうち、旧学童クラブ部分を除く児童館の本来部分は約180㎡であり、貝取学童クラブの育成スペースは約178㎡である。そのため、2施設に大きな差異はない。また、貝取学童クラブ地には広い園庭もある
	児童館が移転することによって通いづらくなる児童はいないか	貝取小と豊ヶ丘小の両校からバランスのよい場所に移転するので通いやすくなる方もいる。また現在の場所でも移動児童館を展開する
	移動児童館とは	他の地域でも実施しているが、移動児童館とは児童館がない公共施設や公園等へ児童館職員が出張して開催するイベントである
	老人福祉館を多世代交流施設にするつもりなのか	老人福祉館は概ね60歳以上を対象とした施設である。今後は子どもから高齢者まで幅広い世代がご利用いただけるように変更するものである
	事務室の検討では、住民による運営が可能か、図書館職員とのすみ分けなどを検討する必要がある	住民による運営ができなければ委託することも含めて検討する必要がある。また、多くの個人情報を取り扱っている図書館職員と運営者(住民・民間)とが同じ事務室で執務する際のすみ分けについてはまだ具体的に整理できていない。
	運営主体によって福祉相談事業の中身は変わるのか	福祉相談の主体や事業内容についてはまだ整理できていない。整備方針(素案)ではそのような事業を進めていく方針であることを記載した

4 豊ヶ丘複合施設の整備に向けた今後の予定について

中長期スケジュール(イメージ)



※状況に応じて変更する可能性があります。

4 豊ヶ丘複合施設の整備に向けた今後の予定について

(1) 基本計画段階

基本計画では、基本設計に着手するために必要な与条件の整理を目的として、主に以下の項目を検討します。設計事業者へ求める施設イメージを的確に伝えて、高い専門性に基づく設計提案をしていただくためには、市民・利用者と機能を所管する市の担当者とは話し合いを通じてこれまでの様々な要望や意見を集約・収斂していく必要があります。基本計画の検討は令和7年度から着手するため、市では予算化等の準備を進めています。

- 機能(サービス)の具体化(図書館機能、貸室・フリースペース機能、福祉相談機能等)
- 活動内容・頻度等に基づく必要諸室・共用部のゾーニング
- 敷地計画(配置等)、□建物計画(平面・動線・構造・設備等)、□備品計画(家具等)、□外構計画(駐車・駐輪台数等)
- 管理計画・機能別の運営計画(開館時間・人員配置)
- ユニバーサルデザイン対応、□災害時の想定(福祉的避難所等)、□環境配慮技術の導入
- 解体計画・建設計画・移転計画、□事業費・財源・スケジュール

(2) 基本設計・実施設計段階

基本計画で検討した機能や必要諸室・共用部のゾーニング、敷地計画、建物計画、外構計画などをもとにして、周辺環境や各種法令などを考慮しながら工事発注に必要な設計図面を作成します。また、詳細な工事費等の積算を行います。

(3) 解体工事・建替工事段階

基本設計・実施設計をもとにして、工事事業者が解体工事・建替工事を行います。建物の竣工時期を早めることを目的として、設計段階から解体工事に着手する方法もあります。

参考 豊ヶ丘複合施設の利用状況

施設名・延床面積	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
豊ヶ丘地区市民ホール	延べ利用者数(人)	11,272	4,444	5,690	7,713	7,719
	延べ利用団体数(団体)	360	239	286	340	318
	第一会議室稼働率(%)	56.5	43.9	35.7	56.3	50.8
	第二会議室稼働率(%)	49.1	30	34.9	40.7	41.5
豊ヶ丘老人福祉館	延べ利用者数(人)	5,046	2,171	2,747	2,358	2,096
	うち延べ風呂利用者(人)	2,364	1,521	1,923	1,679	1,583
	集会室稼働率(%)	59.4	28.2	27.7	22.7	12.6
豊ヶ丘図書館	貸出者数(人)	55,635	46,062	56,043	61,847	66,595
	貸出点数(冊)	140,963	115,147	139,500	134,161	136,057
	おはなし会参加人数(人)	682	25	30	282	333
豊ヶ丘児童館	延べ利用者数(人)	14,933	10,816	16,145	16,155	20,539
	利用登録者数(人)	827	660	860	918	983